

平成30年度 調査船調査計画書

- 1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
- 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
- 3 調 査 名 スルメイカ新規加入量および日本海中部海域漁場環境調査
(予 定 し て い る 予 算 科 目 名 : 水 産 庁 委 託 我 国 周 辺 水 産 資 源 調 査 ・ 評 価 等 推 進 委 託 事 業 , 水 産 庁 補 助 資 源 量 推 定 等 高 精 度 化 事 業 、 交 付 金 一 般 研 究)
- 4 調 査 期 間 平 成 30 年 4 月 12 日 ~ 平 成 30 年 4 月 23 日 (12 日 間) (航 海 数 : 1 航 海)
- 5 担 当 研 究 所 等 日 本 海 区 水 産 研 究 所 資 源 環 境 部 生 物 生 産 グ ル ー プ
責 任 担 当 者 : 井 口 直 樹
電 話 : 025-228-0622

6 乗船調査員等

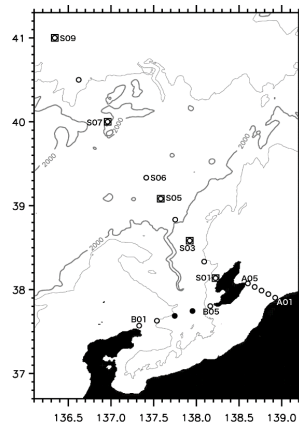
	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	井口直樹	日本海区水産研究所	4月12日 ~ 4月23日
研究所等職員 :	本多直人	日本海区水産研究所	4月12日 ~ 4月23日
契約職員 :	浅田里恵	日本海区水産研究所	4月12日 ~ 4月23日
	:		

7 調 査 目 的 スルメイカの資源量変動と海洋環境・餌料環境との関係の解明を目的とし、スルメイカ加入期の日本海中部海域の定線(S-line)において、CTD・各層採水・ADCPによる海洋観測、およびLNPIによるプランクトン採集をおこなう。

- 8 調 査 項 目
- ① 海 洋 観 測 : CTD観測(約19点)、採水(キャローセル、約5点)、ADCP観測
 - ③ フ ラ ン ク ト ン 調 査 : ノ ル パ ッ ク ネ ッ ト (L N P) 採 集 (5 点)

9 調 査 海 域 日本海中部海域

10 調 査 海 域 図



北緯37度54.2分以北、北緯41度0分以南
東経138度55.4分以東、東経136度16.97分以西

11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
4月12日	清水港出港		3			
4月15日	調査開始		3	6		
4月23日	清水港入港					
	合計		6	6		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 55 KL

平成30年度 調査船調査計画書

1 船 名 俊鷹丸 (水産研究・教育機構 国際水研)

2 総トン数・馬力数 887 トン 4,000馬力

3 調 査 名 北太平洋における外洋性サメ類の標識放流及び生態調査
(予定している予算科目名:国資委託費 かじき・さめSU)

4 調 査 期 間 平成30年5月9日～平成30年6月5日 (28日間) (航海数:1航海)

5 担当研究所等 国際水産資源研究所
責任担当者 : 仙波 靖子
電 話 : 054-336-6045

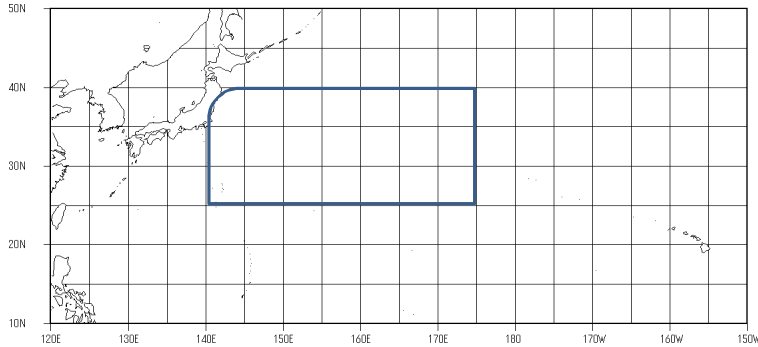
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	井嶋 浩貴	国際水産資源研究所	2018/X/XX ~ 2018/X/XX
	藤波 裕樹	国際水産資源研究所	2018/X/XX 2018/X/XX
	渋谷 未央	国際水産資源研究所	2018/X/XX 2018/X/XX
契約職員 :	未定(4名)	国際水産資源研究所	2018/X/XX ~ 2018/X/XX

7 調 査 目 的 北太平洋三陸沖は、ヨシキリザメやアオザメなどの外洋性サメ類の好漁場の一つである。これらサメ類の資源評価の向上が求められているが、現状その詳細な分布域・回遊・雌雄による移動パターンの差異については不明な点が多い。そこで、本調査では外洋性サメ類に電子記録型標識を装着し、長期的な水平・鉛直方向の行動特性を把握することを目的とする。また通常標識を装着し、放流・再捕時の体長を基に外洋性サメ類の成長様式を調査する。同時に、海洋観測を実施し、漁場における海洋環境と外洋性サメ類の移動・分布の関係性を把握する。

- 8 調 査 項 目
- ① 海洋観測 : CTD、XCTD、ADCP、採水による海洋調査
 - ② 漁獲調査 : はえ縄による漁獲調査
 - ③ 測器等調査 : CTDキャリブレーション、SBT-500を用いた、サメ・カジキ類の釣獲時間・深度調査
 - ④ 標識放流 : サメ類への電子標識、通常標識装着による分布回遊調査

9 調 査 海 域 北西太平洋。北緯25度—北緯40度、東経140度—東経175度の水域。

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
5月9日	清水出港		12	16		
6月5日	清水入港					
	合計		12	16		

12 消費燃油予定量 油種: 重油 軽油 消費量 160 KL

平成30年度 船舶調査計画書

- ・ 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
- ・ 総トン数・馬力数 887 トン 4,000 馬力
- ・ 調 査 名 南西諸島、薩南、日本海におけるクロマグロ仔稚魚分布調査
(予定している予算科目名: 国際資源調査委託費、交付金など)
- ・ 調 査 期 間 平 成 30 年 6 月 13 日 ~ 平 成 30 年 8 月 10 日 (59 日 間) (航 海 数 : 1 航 海)
- ・ 担当研究所等 国際水産資源研究所
責任担当者 : 鈴木伸明
電 話 : 054-336-6033

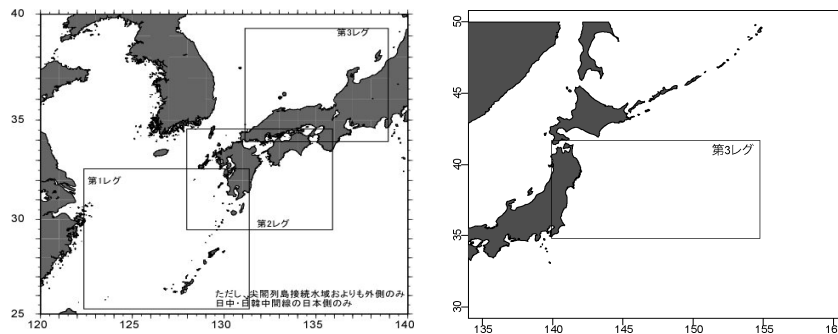
乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	未定	未定	6月12日 ~ 8月10日
契約職員 :	未定	未定	~
外国人研究者 :	未定	未定	~
オブザーバー :	未定	未定	~
そ の 他 :	未定	未定	~

- ・ 調 査 目 的 太平洋クロマグロの加入に関わる基礎的な試料を収集することを目的とする。各種ギアによる本種の採集の他、海洋観測を実施する。
常磐三陸沖での産卵、初期生残を確かめるための予備的調査を実施する。

- ・ 調 査 項 目 ① 海 洋 観 測 : CTD・採水・ADCP観測
② 基礎生産量調査 : 栄養塩分析ほか
③ フラウンクトン調査 : ノルパックネットほか
⑤ 漁 獲 調 査 : 中層トロール、LCネット、多段開閉式ネット、リングネットほか

- ・ 調 査 海 域 東シナ海・太平洋・日本海。北緯25度—北緯42度、東経122度—東経155度の水域
(ただし、外国の漁業に関する管轄権が及ぶ水域を除く)。

- ・ 調 査 海 域 図



ただし、尖閣列島接続水域よりも外側のみ
日中・日韓中間線の日本側のみ

- ・ 運 航 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
6月13日	清水出港		3	16		
7月2日	鹿児島入港	3			給油	
7月5日	鹿児島出港					
7月20日	博多港入港	3	1	14	給油	
7月23日	博多港出港					
8月10日	清水入港		1	18		
	合計	6	5	48		

- ・ 消費燃油量 油種: 重油 軽油 消費量 295 KL

平成30年度 船舶調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000 馬力
 3 調 査 名 亜熱帯域・熱帯域におけるカツオ及び熱帯性まぐろ類幼魚・稚仔魚分布調査
 (予定している予算科目名: 国際漁業資源評価調査・情報提供事業 委託費)

4 調 査 期 間 平成30年10月11日～平成30年11月9日 (30日間) (航海数: 1航海)

5 担当研究所等 国際水産資源研究所 かつお・まぐろ資源部 かつおグループ
 責任担当者 : 清藤秀理
 電 話 : 054-336-6043

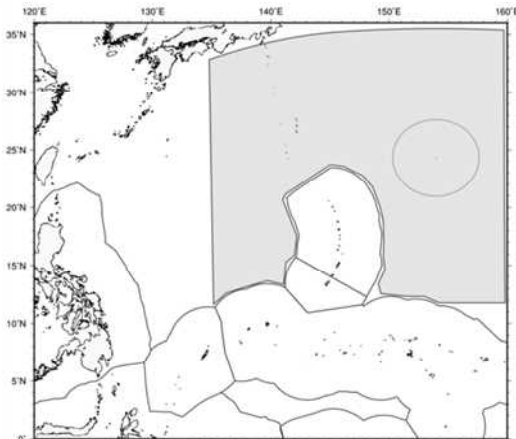
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	清藤秀理	国際水研 かつおG	10月11日～11月9日
研究所等職員 :	未定	国際水研 かつおG	10月11日～11月9日
研究所等職員 :	未定	国際水研 資源環境G	10月11日～11月9日
契約職員 :	未定		10月11日～11月9日
契約職員 :	未定		10月11日～11月9日

7 調 査 目 的 日本近海へのカツオ来遊元と考えられる熱帯域・亜熱帯域において、カツオ仔稚魚・幼魚の水平分布及び生息深度を明らかにするために、中層トロール・竿釣等によって採集し、同時に音響調査、海洋環境を調査する。

8 調 査 項 目 ① 海洋観測 : CTD, XCTD, ADCP
 ③ プラクトン調査 : NORPAC, 2mリングネット、タツカートロール
 ⑤ 漁獲調査 : 中層トロール調査, 釣り, ひき縄
 ⑥ 魚探調査 : ソナー・音響調査

9 調 査 海 域 中西部太平洋。北緯10度-北緯35度, 東経135-160度の公海域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
10月11日	清水港出港		3			
10月14日	調査開始			24		
11月6日	調査終了		3			
11月9日	清水港入港					
	合計		6	24		

12 消費燃油量 油種: 重油 軽油 消費量 172 KL

平成30年度 船舶調査計画書

1 船 名 俊 鷹 丸 (国 際 水 産 資 源 研 究 所)
 2 総トン数・馬力数 887トン 4,000馬力
 3 調 査 名 スルメイカ稚仔調査
 (予定している予算科目名: 我が国周辺水産資源調査・評価等推進委託事業)
 4 調 査 期 間 平 成 31 年 2 月 5 日 ~ 平 成 31 年 3 月 7 日 (31 日 間) (航 海 数 : 1 航 海)

5 担当研究所等 北海道区水産研究所 資源管理部 浮魚資源グループ
 責任担当者 : 加賀敏樹
 電 話 : 0154-92-1715

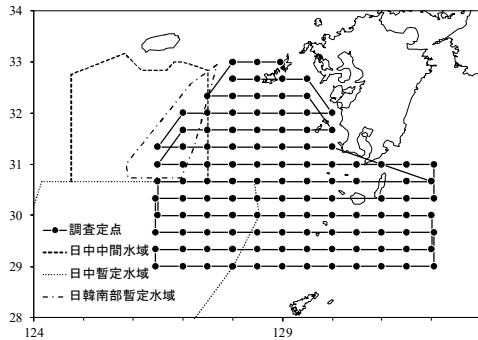
6 乗船調査員等	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	岡本 俊	北海道区水産研究所	2月5日 ~ 2月20日
研究所等職員 :	加賀敏樹	北海道区水産研究所	2月19日 ~ 3月7日
契約職員 :	未定		2月5日 ~ 3月7日
契約職員 :	未定		2月5日 ~ 3月7日

7 調 査 目 的 東北・北海道太平洋海域に來遊するスルメイカ稚仔の分布量および産卵場環境等に関する知見を収集して再生産状況を把握する。東シナ海～九州周辺海域に分布するマイワシ・マアジ・サバ類等の重要浮魚類卵稚仔の分布状況に関する知見も併せて収集する。

8 調 査 項 目 ① 海 洋 観 測 : 表 面 水 温、CTD 観 測、流 速 (ADCP 等)
 ③ プラクトン調査 : プラクトン採集 (ノルバックネット鉛直曳き、ボンゴネット傾斜曳き)、濾水計キャリブレーション2点

9 調 査 海 域 九州周辺、東シナ海、日中中間水域、日中暫定措置水域、日韓暫定水域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 表

月日	項目	運航状況			備考
		停泊	航海	調査	
2月5日	清水出港		3		調査員乗船
2月8日	調査開始			13	
2月20日	鹿児島入港	1			調査員交代、給水、燃油積み込み
2月22日	鹿児島出港			11	
3月4日	調査終了		3		
3月7日	清水入港				調査員下船、機材・標本発送
	合計	1	6	24	

12 消費燃油量 油種: 重油 消費量 155 KL